



KONICA MINOLTA

HONDA



Racing Specialities



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR  
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS  
FACTORY®

# GMC AUSTRALIAN GRAND PRIX

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第16戦

フィリップアイランド(オーストラリア)[10月14日(日) 決勝 天気 晴れ]

## #56 中野真矢 [予選8位 決勝13位 総合ランキング17位]

金曜日、土曜日と天候が安定せず、雨が降ったり止んだりでコンディションがめまぐるしく変わり、レインタイヤにしたりドライタイヤにしたりと、忙しいプラクティスだった。

予選ではいいタイムを出し、8番手まで来ることができた。

しかし、この低い気温の中で、決勝用のタイヤの選択が非常に難しかった。

決勝は晴れスタートもまずまずで、序盤は集団の中でいいタイムで走行しレースを楽しめてが、後半はタイムが上がらず次々に抜かれ、結局13位まで落ちてしまい、課題が残った。

金曜日からもう少しペースを上げて行きセットアップしていければ、もっと高いレベルでレースが出来たのではと思う。

残りも2戦になってしまったので、少しでも前を目指したい。



## ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



今日は、今までと同じような結果であるが、少なくともポイントは獲得できた。

いい予選順位からのスタートで、もう少し良い結果を期待していたが、レースではよくあることだ。

真矢は柔らかめのタイヤを選んだが、レース中盤からリズムを崩し始めた。

今週の寒い天候の中では、タイヤ選択が難しかったようだ。

真矢は良いスタートを決めたが、中盤からチャタリングの問題が出始めると少しずつトップから遅れてしまった。

次のセパンでは、冬のテストの結果がセットアップに良い影響を与えてくれることを期待している。

我々のターゲットは、良い結果得ることと、チャンピオンシップランキングを上げることだ。

OfficeFourEight

© shinya56.com